

ひまわりからの メッセージ

149号

2024.4.15

NPO ひまわりの花内
西濃圏域
発達障がい支援センター
発行人：中野たみ子

新たななる

目標に向かつて



今年、桜の開花が遅く、入学式に満開のときを迎えました。子ども達も保護者の方たちも先生方も華やいだ気持ちで、新たな一歩を踏み出されたことと思います。

昔、私が尊敬する恩師の一人が「生徒が新しい一歩を踏み出す時には、私も新しいことを始めるように心がけているんだよ。」とおっしゃいました。恩師は六十歳の定年後、程なく亡くなりましたが、何十年経っても、その言葉は私の心に残っています。今まで、私は新しい挑戦を資格取得や新たな学びをすることに専らでしたが、年齢を重ね健康に過ごすことの大切さを感じることが多くなったので、今年からは体力づくりにも力を入れようと思いを立ちました。

まず、朝起きる日の出前に家の周りを歩くことにしました。すると、今まで知らなかった花に出逢ったり、昔はこの家に遊

びに来て、椿の樹の下で実を拾い集めたことがあったなあと思いつき、出逢った花に歩きます。そして、小鳥たちのさえずりも楽しみの一つです。

「ほり、変な人間が歩いてくるよ。」「余り見たことないねえ。」「何だか今年はずっと歩きたらいいよ。」「へえ、でもどうせ三日坊主だよ。」「ほり、もう息切れしてるじゃないの。」……と、電線に止まった小鳥たちのおしゃべりが続きます。私は立ち止まって「ほり、歩いてくれないかなあ。今にもっとしゅかり歩けるようになるからさ。」などと応じたりするわけです。しばらく行くと、今度は鳥です。「朝だから、もう少しきれいな声で啼いてみたう？」と、いじわるを言ってみたりして、鳥のことは分からない私は勝手に想像しながら会話していると、あっという間に吾が家に着いてしまいます。その間十分ですが、毎日が楽しくて半月が過ぎようとしています。

さて、皆さんの今年の目標は何でしょう。新年度が始まって、とにかく皆忙しいですね。子どもたちは新しい環境や担任の先生に慣れるのに必死でしょうし、お母さん達は「今年の担任の先生はどんな人だろうか。」と、うわさ話に花が咲いている頃でしょうか。

何はともあれ、私たちは、子ども達の健やかな成長と幸せを願って今年も歩みを進めていくのです。私たち大人も自己主張ばかりしないで相手のことを思いやれる人間でありたいですね。

庭先では、著者が真つ盛りです。白山吹も咲きはじめました。

出逢いと別れ、そして 新たな出発



人の一生には、様々な出逢いがあり、別れがあります。出逢いと別れが一番多いのが三月から四月にかけてのこの時期です。

私は、今までの環境から新たな環境に身を置くと、前の環境での別れがどんなものであったかによって、新しい出発に向かう姿勢が変わってくるのではないかと考えています。今年はそのいう意味で子ども達も、どんな卒業式を迎えたのか気になりました。支援学級の子は？、不登校の子は？、どんな卒業式の日を迎え、どんな送られ方をしたのでしょうか。

心あたたまる卒業証書授与

「こんな卒業式をしたのは、私にとってもはじめのことでした」とある校長先生が話して下さいました。どの学校でも最近是不登校の子も多くなりましたから、どこでも苦慮されていることでしょうか、この学校にも困りをもつ生徒さんがたくさんいらっしゃいました。その卒業生の一人一人にどの様に卒業証書を渡そうかというのは、校長先生であれば、どんなも考えられることでしょうか。職員の中には、「別に校長先生が手渡されなくても良いのではないですか」と言

われた方もおられたようですが、校長先生は「卒業証書は私の名で出すものです。自分で手渡すべきだと思えます」とおっしゃったそうです。

どの学校でも、来賓も招き全員で行う卒業式があり、色々な事情でその場に入れない生徒さんには卒業式後に手渡すということが行われています。それを一部、二部と言っておられるようです。二部の生徒は校長室で校長先生の手で卒業証書を授与されるということが多いそうです。

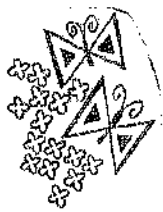
さて、前述の校長先生の学校の第一部の式には、皆と一緒に並んで式に参加できなかったけれど、保護者と一緒に保護者席で参加していた生徒さんがおられたそうです。その生徒さんに対しては、職員の方たちが協力して、式後に来賓の方を校長室にゆくりとご案内し、その間に校長先生が証書を手渡すことができたように心配りされたということでした。

第二部は、体育館で行われたそうです。それは、おそらく他の学校でも同じでしょう。ただこの学校では第三部、第四部があったのです。第二部にも出席できない生徒が三人いて、その内の二人は、校長室で時間差の卒業式があったのです。学年の先生方も出席し、式の流れにそって、式辞や担任のお祝いのことばもありました。一人おつ二回、校長先生のお話は第一部より短かかったというものの、生徒一人ひとりのはなむけのことばと

して伝えられたのでした。

残る一人の生徒さんは、人が怖くて外出もできません。病院にも怖くて行けず、三年間で二回しか登校できなかつたというこ
とでした。三年生の担任の先生は、家庭訪問を重ねておられ
たのですが、校長先生は、この生徒さんにも証書を手渡
したいと思い、学年主任や担任の先生と一緒に家庭訪問された
のでした。家の中に入れてもらうことなど考えておられなかつた
そうですが、保護者の方は、きちんとした服装で出迎え、生徒
さんも学校のジャージ姿で証書を受け取ったということでした。
担任の先生は、少しその生徒さんと話さし、メッセージも手渡され
たということですが、私は、この生徒さんたちは、きっとこの日のことを
忘れないだろうなと思いました。多分苦しい日々だったことではな
が学校へ行けてなかつたけれど、自分を見捨てられていたのではな
かつたのだ。大事に思うて下さっていたのだということ、今後の大
きな力になっていくに違いないと思うのです。保護者の方にも
先生方の思いがきくと伝わったはずですよ。

卒業証書は誰のもの？



さて、前述の文章を読まれて、皆さんは、どのような思われ
たでしょうか。そこまでやる必要がないと思われた方もいらっしゃる
かもしれませんが、もうひとつ小耳に挟んだお話です。

最近、本当に不登校や行きしぶりの子は多いのでしよう。しかも
暴言やトラブルもあつた先生方の悩みも大きいと思います。私は、
「子どもが困っているんです。困った子じゃないんです。困っている子な
んです。」と、言い続けてきましたが、なかなかそう思っていただけないこ
とも多いような気がしています。

ある学校では、第二部の卒業式は無しになりました。休みがら
だった生徒たちでしたが部活だけは何とかかんはって出席できてい
た支援級の子に校長先生は「卒業証書を校長室に取りに来て、
せなくても、部活の所で手渡せば良いことだろう、学校は休んでもそ
ちには行けているんだから」というお考えのようでした。保護者の方
にも承諾をとられて、部活の場で担任から手渡すという方法をとら
れたのでした。そして、おつと学校を休んでいる不登校の生徒に對して
は、保護者に卒業証書を取りに来てもらうことになったのでした。

前述の校長先生との違いに、実は、私は啞然としてことばを失いま
した。この話は私の聞きまちがひであつて欲しいと思ひました。

成績も良く、毎日登校してくる生徒は良いけれど、色々な理由があ
つて、学校を休みがちな生徒や支援学級の生徒は、生徒の教に
入れてもらえてなかつたということでしょうか。自分の名で卒業証書
を出すのですから、自分で手渡したいという校長先生とどこがどう
ちがうのでしょうか。おそらくは人生観、人間観、
価値観のちがひなのでしよう。ひるがえつて、



生徒や保護者の方は、どの様に感じられたでしょう。「どうせぼくのことなんて……」「良いこと言ってるだけ結局は……」と感じる人はいるでしょうか。「本当によくしてもらった」「大切に思われていたのだなあ」と心から思えたかどうか？、そして、今後の人生の中で折にふれて懐しく思うことがあるのかどうか？、と思っておりましたのでした。卒業証書の重みについても考えさせられました。

そして、教育者として部下の先生方はどの様に思われたのでしょうか。今の人たちは、私の世代とちがって表立って上司に反発するなんてことはしません。黙ってしまいます。私自身も欠点ばかりの人間なので、きっと私の下で働いていた人たちは、不満をいっぱいもっていたんだらうなあ、と、今、思うのです。

ただ、子どもたちに関わる職業である保育士や療育、教育者は、普通のサラリーマンとは違うのは当然です。そうすると二番に考えるのは、自分の出世や、自分の立場というより、子どもたちのことではないのでしょうか。私たちが子どもたちにとって信頼できる大人であることが何よりも大切なことだと思っております。

人としてどうあるべきか、こんな年齢になっても日々悩み、迷いつづけている私に偉そうなことは言えないけれども、せめて子どもたちも裏切らない生き方をしたいと思っております。なかなか難しいですが、誠意をもって行動していただきたいものです。『あなた達を大切に思っていますよ。』と示したいのです。



研修会のお知らせ

4/23 (火) 視機能について 谷口光之先生
 まだ余裕がありますので お聞きになりたい方はお申し込み下さい。
 himawarinohana0330@yahoo.co.jp
 15:00~17:00 情報工房 スイムホール

6/29 (土) ~ 30 (日)
 感覚統合学習会 木村 順先生
 ソフトピアジャパンセンターにて
 昨年につづいて今年も東京から来ていただきます。2日間
 通じて学ぶのは大変ですが
 学びの機会を大切にしましょう。



5/13 センター親の会

ソフトピアセンターが工事のため、文化会館の方に移ります。会議室3(3F)

5/15 ピアサポート

※土曜日の家族会はなくなります。
 Tel予約で個別相談がセンター親の会に来てください。
 ※各市町の成人相談もありますので、公報などでご確認ください。

お知らせ